

運営方針

副理事長 片桐 康利
(拡大委員会)
(広報国際委員会)

佐世保青年会議所は、61年という長きに渡り、諸先輩方が地域に根差した活動を発信することで同志を増やし、国際色豊かなまちの特異性を活かしながら、輝かしい歴史を刻んでこられました。62年目は、これまでの伝統を継承しながら、全ての事に感謝し、溢れる情熱と思いやりを持って、日本一元気なまちの実現へと繋げていく事が必要です。

そのためには、一人ひとりが青年会議所活動の本質を再確認し、永続的に力強い活動を進めていき、会員拡大に対する意識をこれまで以上に高揚させていくことができるよう積極的な取り組みを実施し、我々の活動を発信することで、志を同じくする多くの仲間を増やしていきます。また米軍と自衛隊が共存し、アジアを中心とした外国人を取り込むことができる国際色豊かな特異性を活かすために、国際感覚豊かな青年経済人として成長を遂げながら、このまちの資源を活かしたグローバルタウンの実現に向け活動していきます。

最後に、副理事長として61年という長きにわたり活動してこられた諸先輩方へ感謝の気持ちを持ち、理事長をしっかりと補佐しながら、与えて頂いた役割を全うできるように日々精進して参ります。皆様方のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

運営方針

副理事長 指山 立
(例会委員会)
(親睦委員会)

我々 J C の使命は、次世代に誇れる明るい豊かな社会を創造するために市民の意識をポジティブに変革していく先導役となることです。そのためにもまずは J A Y C E E が情熱と思いやりを持ち、道徳心溢れる変革者として積極的に行動できる資質を持った人材にならないければなりません。J A Y C E E が変われば人が変わり、そしてまちが変わります。

本年は例会委員会と親睦委員会を担当させていただきます。例会ではメンバー同士の交流や資質の向上を通じて力強い組織を構築するためには何が必要なかを常に追求し、親睦事業では係る全ての人へ感謝の気持ちを忘れず、配慮の行き届いた交流を通じて、特別会員はもとより関係諸団体の方との絆をより深められるような運営を目指して参ります。

全ての人とのつながりのさらなる強化を本年最大の目標とし、その目標を達成するためにもまずは私自身が J C という絶好の学び舎に積極的に飛び込み、困難や失敗を恐れず何事にも積極的に勇気を持って挑戦して参ります。

運営方針

副理事長 内海 梨恵子
(会員研修委員会)
(心の教育委員会)

先輩方が築いてこられた歴史と伝統を受け継いでいく我々は、変わりゆく社会環境の中、揺るぎない理念を胸に刻み、高い志をもって活動していかねばなりません。いま現在、社会に顕在化している問題のみならず、まちの将来を想い描き、積極的且つ多角的に課題に取り組み市民意識の先導役となっていきます。

青年らしく伸び伸びと活動する中にも、自分に甘えることなく、またお互いを律し合いながら、情熱と思いやりをもって、切磋琢磨しあえる環境を作り、LOMの組織力の向上を図ります。メンバー一人ひとりが、自分の頭で考え行動し、JAYCEEとして誇りをもって、悔いなく活動を行うことで地域のリーダーとなることを目指します。

私自身、役割をしっかりと自覚しこれまで先輩方から教えて頂いた事を余す事なく発揮しながらも、今まで以上に貪欲に学び実行し成長して参ります。コミュニケーションを大事にし、優しさと厳しさをもって理事長の思いを具現化すべく、率先行動して参ります。

運営方針

副理事長 筒井 玄一郎

(未来創造委員会)

(佐世保活性化委員会)

歴史的にみると佐世保は市民の大半が市外から移住してきており、文化や伝統はまだ歴が浅く、佐世保をより明るい豊かなまちにするために全佐世保市民に対し歴史を紡ぐ担い手として郷土愛を醸成しなければなりません。

まずは、佐世保の魅力を発信すると共に活性化を図るために、米軍と自衛隊が共存しているという特色や、外国人を取り込む大型観光施設を有するなど、国際色が豊かであるという資源を活かした活性化事業を展開します。そして、佐世保の特色を改めて認識し魅力を広く発信すると共に、市民一人ひとりがこのまちの未来を真剣に考えることのできる機会を創り出し、青年会議所会員はもちろんのこと、市民の郷土愛の醸成に繋げていきます。

溢れる情熱と思いやりをもって、我が郷土の持つ可能性を存分に活かした地域活性化事業を推進すると共に、まちの輝かしい未来を創造し発信することで市民一人ひとりが誇りをもって住み続けてくれるまちを実現します。

運営方針

専務理事 西田 剛
(総務渉外委員会)

佐世保青年会議所が誕生して61年が過ぎ、創設当時と比べ社会情勢は大きく変化してきましたが、青年会議所活動は変わるものではありません。本年62年目の歴史を歩む中、これまで培ってこられた歴史と伝統を大切にしながら高い志を持ち、青年会議所活動を通して、更に地域から必要とされるJCへならなければなりません。

そのために、情熱と思いやりを持って活動することを忘れず、個人の資質を向上させると共にLOMの活動の円滑化を促進し、組織が活発に活動できるよう努めて参ります。また、地域において常に輝き続け、必要とされ信頼される組織である為に探究心を忘れず、何事にも真正面から向き合い、その世代の歴史を創っていく我々青年に課せられた使命を全うし、力強く活動し発信して参ります。

最後に、専務理事としての責務を全うすることはもちろん、LOM、そして理事長をしっかりお支えし、謙虚な気持ちを忘れず、JAYCEEである事に誇りと自信を持って活動して参ります。